

社会科学習指導案

日時 令和元年 11月13日(水)
児童 4年生
授業場
授業者

1. 単元名「健康なくらしとまちづくり」～ごみはどこへ～

2. 単元の目標

ごみを処理する事業について、ごみの処理の仕組みや清掃工場などの関係機関に従事している人々の働きなどに着目して見学・調査してフローチャートなどにまとめることを通して、これらの事業は計画的・協力的に行われることで衛生的な処理や資源の有効利用ができるように進められていることを理解し、これからも快適で健康的な生活環境の維持と向上ができるよう、ごみの減量など自分たちにできることを考え、表現することができる。

3. 単元観・児童観・指導観

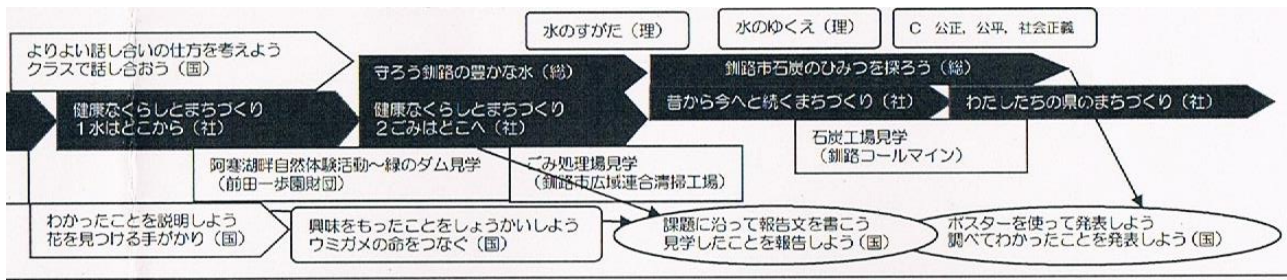
本単元は、小学校学習指導要領の第4学年の内容(2)を扱った単元である。廃棄物を処理する事業は、衛生的な処理や資源の有効利用ができるように進められていることや、生活環境の維持と向上に役立っていることを理解し、自分たちも地域社会の一員として協力できることに取り組もうとする態度を育てることをねらいとしている。

本学級の児童は、これまでの学習において、地域の安全を守る警察や消防の仕事に関心をもち、事件・事故、火災などが発生した際にどのような過程を経て対応しているのかについて意欲的に追究活動を行ってきた。問題解決のために、地域や学校の安全に関する調査活動に取り組んだり、警察署の方に聞き取り調査を行ったり防災センターを見学したりしながら必要な情報を集め、課題に対する自分なりの考えをまとめている。話し合い活動では、学習問題に対する自分の立場(考え)をもち、友達の考えと比べたり既習事項と関連付けたりしながら考えを整理し、より明確にしていく児童も少しずつ増えているが個人差がみられる。

指導にあたっては、問題解決的な学習展開を構成し、子供が前単元までで経験した学習方法を生かせるようにする。既習の学習方法を想起させながら学ぶことで児童が比較しながら思考を巡らせて課題追究しやすくなるため、ごみを処理する事業が、快適で健康的な生活環境を守るために、計画的・協力的に行われていることについて理解を深めることができると思う。そのために、清掃工場を見学したりごみの処理に関する資料を調べたりしながら追究することで多くの情報が収集できるようにし、フローチャートを活用して整理していくことでごみが処理される過程を明らかにしていく。また、話し合いの場を設けて整理した情報を比較したり関連付けたりして考えるなど、社会的事象の見方・考え方を働かせる場面が多く設定されるようにする。

4. 「学級・学年経営年間プログラム」との関わり

社会科や総合的な学習の時間における情報収集活動を核として、釧路市の発展に関わる「人・物・事」などの社会的事象の相互関係や、地域と自分との関係を整理・分析し、釧路市の未来への協働的参画意識を高め、よりよい地域の在り方について表現していく力を育むために、本単元では、国語科との関連を図りながら情報の共通点や相違点を見つけて整理したり、事実と意見を区別して表現したりするなど、集めた情報を適切に整理・分析し、比較したり関連付けたりしながら自分の考えを表現していこうとする児童の姿を引き出していく。



5. 単元を通して育む「市民性・地域参画力」

学校生活における本学級の児童の実態から考えると、社会的事象や地域と自分との関係について漠然としたつながりがあることは理解できていても、それらの相互関係を適切にとらえることは難しい。しかし、上記「3」に記載した手立てや教師の関わりにより、ごみを減らすために正しく分別しようするなど、自分にできることを考えたり実行しようとしたりしている子供の姿を引き出していく。本単元では、このような姿を市民性・地域参画力を育てていく姿とおさえ、問題解決的な学習展開を構成し、情報を比較したり関連付けたりしながら考えるなど、社会的事象の相互関係や地域と自分との関係を整理・分析していくことで、地域の未来への協働的参画意識を高めていけるようにする。

6. 評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| <p>ア ごみがどのように処理されているのかについて清掃工場を見学したり、分別表などの資料を活用したりして、ごみの処理に関わる対策や事業について必要な情報を読み取っている。</p> <p>イ フローチャートを活用し、調べたことを整理している。</p> <p>ウ ごみを処理する事業が、人々の健康な生活や良好な生活環境を守るために、計画的・協力的に進められていることを理解している。</p> | <p>ア ごみを処理する事業について、課題を解決するための学習問題をつかみ、学習計画を考えている。</p> <p>イ ごみを処理する事業が、自分たちの快適で健康的な生活環境を守るために計画的に・協力的に進められていることを、既習事項を基に自分たちの生活と関連付けて考え、表現している。</p> | <p>ア ごみを処理する事業について意欲的に調べたり、地域社会の一員として自分たちにできることを考え、実行しようとしたりしている。</p> <p>イ 収集した情報を整理し、課題を解決するために必要な資料や情報を集めたり、選んだりしている。</p> |

7. 単元計画（全14時間）

| 時数 | ○主な学習活動 | 評価の観点 | | | 学び合いの過程 手立て |
|--------------------------|---|--------|---|---|--|
| | | 知 | 思 | 主 | |
| 1 ～ 2 | <p>○釧路市で出されるごみの量を資料から読み取る。</p> <p>○釧路市のごみの出し方のきまりを見ながらグループごとに分別模擬体験をする。</p> <p>○何種類ものごみが大量に出されている事実に着目し、体験を通して気付いたことや収集や処理の方法について疑問に思ったことを出し合い、単元全体の学習問題を作る。</p> <p>なぜ、ごみは分別して処理されている？</p> | ア | ア | | <p>手立てⅠ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ごみの量」（H28 釧路市）の提示 ・釧路市のごみの出し方のきまりに沿ってごみ分別模擬体験（25年前と現在）を行い、ごみの処理の仕方について疑問をもつことができるようにする。 ・「きまりが守られず、ごみが山に捨てられている写真」を提示し、ごみの処理と良好な生活環境の維持に関連があることに気付けるようにする。 |
| 3 | <p>○学習問題を解決するために必要な情報を考え、知っていることや予想を基に学習計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの集め方（ごみ収集車・資源物回収車） ・清掃工場（焼却施設）のしくみ ・リサイクルのしくみ | | ア | | <p>手立てⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ収集車やごみステーション、リサイクルマークなどの写真資料を提示し、自分の生活体験からごみはどのように処理されているのか想起できるようにする。 |
| 4 ～ 6 | <p>○ごみの集め方について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のごみの集め方（可燃ごみと資源物） ・釧路市のごみの集め方（可燃ごみと資源物と不燃ごみとその他） | ア イ | | イ | <p>手立てⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校のごみ置き場（階段下）の様子を調査したり、用務員の佐々木さんに学校のごみ処理について聞き取りを行ったりして、学校から出されるごみの処理について捉えられるようにする。 ・桜ヶ岡地区のごみ回収計画地図を提示し、資料を基に話し合うことでごみの回収が効率的に行われていることに着目できるようにする。 ・資料や調査だけでは解決できない情報を整理し、調査方法について話合わせることで、清掃工場を見学する必要性に気付くことができるようにする。 |
| 7 ～ 9 | <p>○清掃工場での調査活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集められた燃やせるごみは、どのように処理されているのか ・燃やされたごみはどうなるのか ・25年前はどのように処理していたのか <p>○清掃工場での調査活動を基に、ごみが分別して処理されている理由を考える。</p> | ア イ | | | <ul style="list-style-type: none"> ・資料や調査だけでは解決できない情報を整理し、調査方法について話合わせることで、清掃工場を見学する必要性に気付くことができるようにする。 ・釧路市資源リサイクルセンターの映像資料を視聴し、資源物の処理方法と課題について理解できるようにする。 ・清掃工場で働く方に聞き取り調査を行ったりして、資料ではわからなかった問題を明らかにできるようにする ・フローチャートで情報を整理・分析する際、ごみの処理に携わる人を位置付けることで、「自分」と「ごみの処理に携わる人」それぞれの立場による視点の違いがあることも整理する。（フローチャート参照） |
| 10 ～ 11 ～ 12 | <p>○リサイクルのしくみについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・びんの処理 ・缶の処理 ・ペットボトルの処理 ・プラスチック製容器包装の処理 <p>○粗大ごみや有害ごみの処理について調べる。</p> <p>○調べてきたことをフローチャートに整理する。</p> <p>○整理した情報を基に、ごみが分別して処理されている理由を考える。</p> | ア イ | | イ | <p>手立てⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査したことを基に、ごみが分別して処理されるようになった理由を思考ツール（別紙）で整理・分析し、交流を通して自分の考え（立場）を明らかにしていく。 |
| 13 （本時） ～ 14 | <p>○前時までに調査してきたことを基に、ごみが分別して処理されるようになった理由を考える。</p> <p>○ごみの処理について自分たちができることを考えて発表する。</p> | | イ | | <p>手立てⅡ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査したことを基に、ごみが分別して処理されるようになった理由を思考ツール（別紙）で整理・分析し、交流を通して自分の考え（立場）を明らかにしていく。 |

8. 本時案

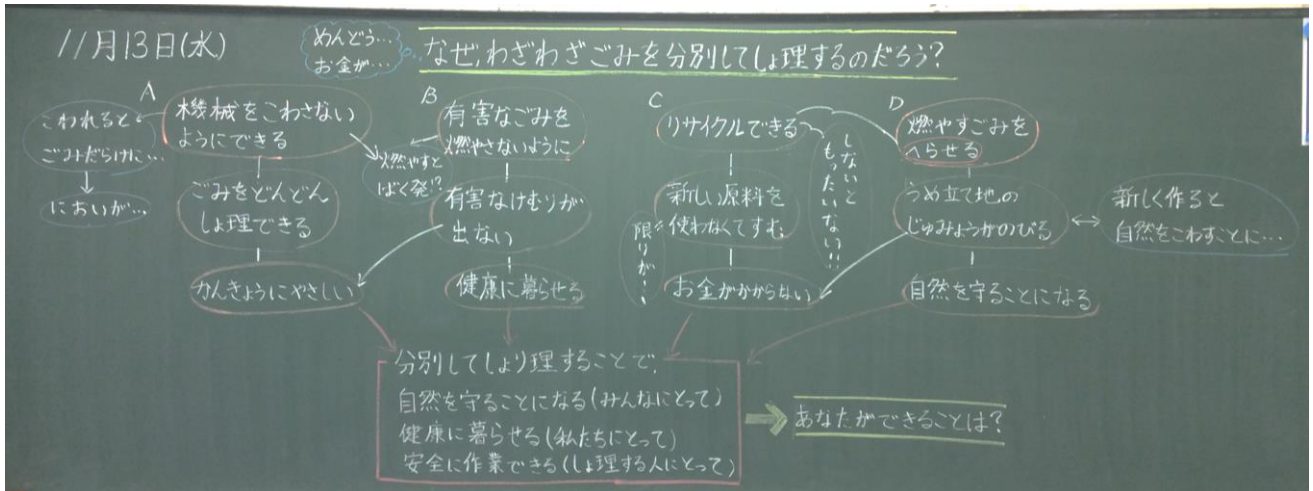
(1) 本時の目標

ごみが分別して処理されるようになった理由について、調査してきた情報を基にして自分たちの快適で健康的な生活の維持と向上を関連付けて考えている。

(2) 本時の展開 (13 / 14)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----------------|-----------------|-----------------|---|---|---|---|---------------|------------|---------------|-----------------|---|---|---|---|---------|---------|----------|-------|---|---|---|---|---|
| <p>学習活動 児童・生徒の姿 ○教師の働きかけ・発問 (△補助発問, □指示・説明) 手立て</p> | <p>【評価の観点】 ◇評価の内容 ・指導上の留意点</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>1 ごみの分別模擬体験を想起し、分別の手間を振り返る。 I</p> <p>「釧路市の25年前と現在のごみの分別模擬体験を振り返り、どんな違いがありましたか。」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>[25年前]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分ける種類が少ないからとても簡単で、楽だ。 ・なやまなくていい。 <p>[現在]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の分別は分ける種類が多いから、面倒だし、時間がかかる。 ・分別の仕方がわからなくて困ったり、まちがえたりする。 </div> <p>2 ごみが分別して処理されるようになった理由を考える。</p> <div style="border: 2px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0; text-align: center;"> <p>【学習問題】 「手間やお金もかかるのに、なぜ、わざわざごみを分別して処理するのだろう？」</p> </div> <p>○前時までに調査してきたことと座席型シートを基に、思考ツール(別紙1)を用いて自分の考えを書く。 II</p> <p>3 個人で考えたことを基に全体で交流し、自分なりの結論を出す。</p> <p>○思考ツール(別紙1)を基にした話し合いを通して、ごみを分別して処理することのよさは何かを板書で可視化する。(別紙板書計画参照)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">A 機械をこわさないように</td> <td style="width: 25%;">B 有害ごみをもやさないように</td> <td style="width: 25%;">C リサイクルできるように</td> <td style="width: 25%;">D もやすごみをへらせるように</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>ごみをどんどんしよ理できる</td> <td>有害なけむりが出ない</td> <td>新しい原料を使わなくてすむ</td> <td>うめ立て地のじゅみょうがのびる</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> </tr> <tr> <td>環境にやさしい</td> <td>健康に暮らせる</td> <td>お金がかからない</td> <td>自然を守る</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> <td>↓</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を守ることにつながる。(みんなにとって) ・安心して暮らせることにつながる。(私たちにとって) ・安心・安全に作業できることにつながる。(ごみ処理に携わる人にとって) | A 機械をこわさないように | B 有害ごみをもやさないように | C リサイクルできるように | D もやすごみをへらせるように | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | ごみをどんどんしよ理できる | 有害なけむりが出ない | 新しい原料を使わなくてすむ | うめ立て地のじゅみょうがのびる | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | 環境にやさしい | 健康に暮らせる | お金がかからない | 自然を守る | ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | <p>・単元の導入時の板書を提示する。</p> <p>・児童の予想を基に、「私たちにとって何かいいことがあるから…」という方向性を明確にしておく。</p> <p>・座席型シートは、児童の読む時間を十分に確保し、効果的に用いることができるよう事前に配付しておく。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>調査してきたことを基に、ごみを分別することが自分たちの生活のどのようなよさにつながるのかを思考ツールに整理しながら、自分の考えを表現している。【思】</p> </div> |
| A 機械をこわさないように | B 有害ごみをもやさないように | C リサイクルできるように | D もやすごみをへらせるように | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ごみをどんどんしよ理できる | 有害なけむりが出ない | 新しい原料を使わなくてすむ | うめ立て地のじゅみょうがのびる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境にやさしい | 健康に暮らせる | お金がかからない | 自然を守る | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ↓ | ↓ | ↓ | ↓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【板書計画】



【別紙資料】

「ごみの量」(H28 釧路市)

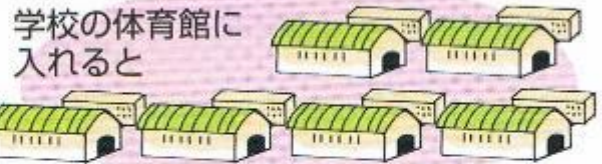
平成28年度の釧路市のごみの量

ごみの量(燃やすごみ・燃やさないごみ・大きなごみ・害のあるごみ)



59,093トン

(1トン=1000kg)



(たて40m×よこ30m×高さ9m)

リサイクルできるごみの量



約6個分

1人が1日に出すごみの量

釧路市
934g
(平成28年度)

10Lのごみ袋にすると
1年間でなんと!

1人, 約**171**枚分の
ごみを出していることになるんだよ!
お金にすると... 1人, 約**4,446**円
かかったことになります!

種類別のごみの量

※()のなかの数字は27年度の分です。

ごみの量



燃やすごみ



2,656トン
(2,913トン)

燃やさないごみ



2,711トン
(2,797トン)

大きなごみ



35トン
(38トン)

害のあるごみ



10,044トン
(10,203トン)

リサイクルできるごみ



教室のごみのゆくえ

名前:



私たちが



()が



()が



様々な原料から製品へと生まれ変わる

家のごみのゆくえ

名前:

家のごみ箱



()が

()が



様々な原料から製品へと生まれ変わる

2. いろいろなリサイクルのマーク

- リサイクルができるかどうか分かりやすいように製品にはいろいろなマークがついています。

リサイクルできる製品は、どのように見分けるの？



ペットボトルの
材質表示マーク



リサイクルできる対象の容器に材質を表したマークがついています。

アルミ缶の
マーク



アルミニウムでできた缶についています。

スチール缶の
マーク



鉄でできた缶についています。

紙製容器包装の
マーク

(お菓子のあき箱など)



紙製容器包装についています。
段ボールとアルミニウムを使用していない飲料用紙パックは除きます。

プラスチック製
容器包装のマーク

(カップめんの容器、お菓子の袋など)



プラスチック製容器包装についています。

充電式電池の
マーク



充電式の電池についています。

桜ヶ岡地区のごみ回収計画地図



